

又拜城、阿克蘇に於て往時官營を以て採鑛せし時代には、一年二十萬斤の産額に上りしが、目下は纏頭回の個人經營なるに因り、一年僅に一萬五千斤を得るに過ぎずと云ふ。

銀鑛 往年塔爾巴哈臺に於て、露清人の合資にて協同採掘を爲せしも、收支相償はずして廢業せり。其他現今個人の採掘に委し在るが故に、其産額多からず。

鉛鑛 北路にては、伊犁に工廠あり。始め乾隆三十一年(千七百六十六年)明瑞將軍の時代には、鉛廠を哈什に設け、後之を雅瑪吐に移し、尋て同六十年(千七百六十九年)保宣將軍更に額魯特の游牧地なる察奇爾阿滿山チャチアルアマシに移轉して、鑛業を擴張せしかば、産出頗る多かりしが、現今は稍々振はざる有様なりと。又南路にては、庫車、拜城、烏什、喀什噶爾、葉爾羌、巴勒庫爾、和闐等に産出多く、錫も亦産出す。然れども純益甚だ多からざる模様なり。

鐵鑛 乾隆三十八年(千七百七十二年)舒赧德將軍、伊犁河南の索果爾附近ソコルに開鑛せしを始とし、同四十年別に又崆羅鄂地方コンロータイに開きしも、其の産額多からずと。

三 鑛業改良の必要